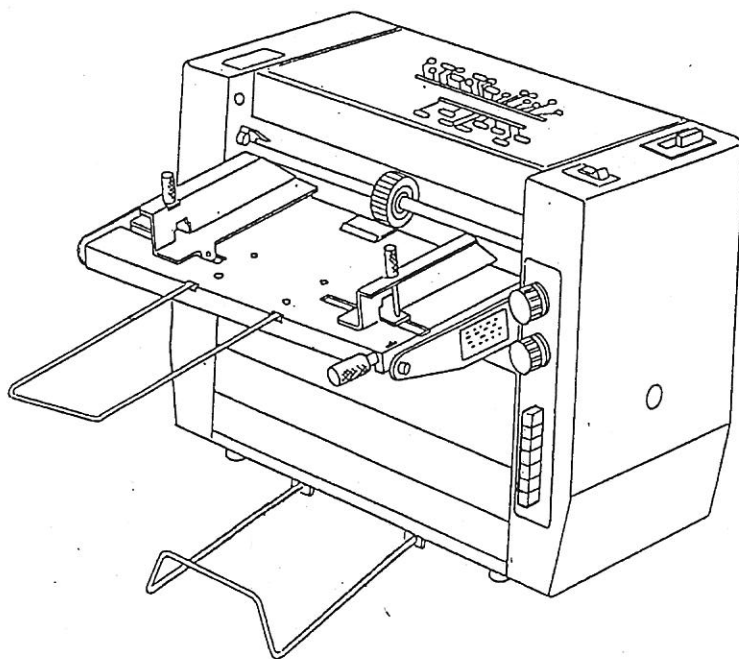


# 取扱説明書

## 紙折機

AF-4N型 F-4N型  
AF-4CN型 F-4CN型  
AF-4H型 F-4H型  
(Nは斜行調整機構付) F-7N型  
(Cはカウンター付)



ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。また、いつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。

- ・ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- ・「安全上の注意」に使用されている絵表示の例。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。




⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。






Ⓢ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

## 安全上の注意

<b>警告</b>	
	<p>1 アース接続してください。アース接続がされないで漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。</p>
	<p>2 交流100V以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。</p>
	<p>3 この機器の上に花瓶・植木鉢・コップや水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合、感電のおそれがあります。</p>
	<p>4 この機器のカバーは外さないでください。感電やけがのおそれがあります。</p>
	<p>5 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないで下さい。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災感電のおそれがあります。</p>
	<p>6 この機器を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。</p>
	<p>7 発熱してたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>
	<p>8 異物（金属片・水・液体）が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は当社営業担当者までご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。</p>
	<p>9 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。</p>

 注 意

	1 ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりけがの原因となります。
	2 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。 火災、感電の原因となります。
	3 電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災、感電の原因となります。
	4 本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき火災、感電の原因となります。
	5 連休等で長時間、本機を使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

# はじめに

ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。

特に「△警告」(2ページ)「△注意」(3ページ)は必ずお読みの上、正しくお使いください。

この「取扱説明書」は、必要な時にいつでもお読みになれるように、保管場所を決めて、大切に保管してください。

この製品は改良のために、仕様を変更する場合があります。このため、同一製品においても、「取扱説明書」の記載内容が異なる場合がありますので、製品ごとの「取扱説明書」を混同して使用しないでください。

## 目次

1. お使いになる前に	5
(1)使用方法・使用場所の注意	
(2)付属品の種類・数量確認	
(3)本体各部の名称	
2. ご使用方法	7
1. 準備	
(1)AF-4 (C) N・F-4 (C) N・F-7N型の場合	
(2)AF-4H・F-4H型の場合	
(3)用紙をセットします	
2. 操作方法〈AF-4 (C) N・F-4 (C) N・F-7Nの場合〉	7
(1)電源を入れます	
(2)折り位置をセットします	
(3)試し折りをします	
(4)紙折りを開始します	
(5)斜行調整の方法	
3. 操作方法〈AF-4H・F-4Hの場合〉	9
(1)電源を入れます	
(2)折り位置をセットします	
(3)試し折りをします	
(4)紙折りを開始します	
(5)折り位置調整のしかた	
3. 機械のお手入れ	10
1. 折りローラーの清掃	
2. 消耗品について	
4. トラブルガイド	11
(1)用紙が詰まった場合の処理のしかた	
(2)自動折り位置設定付で自動設定ができない	
(3)自動給紙型でモーターが途中で止まった場合	
(4)手差し給紙型でモーターが途中で止まった場合又は、止まらない場合	
5. 故障の場合	13
6. 各機の仕様	14

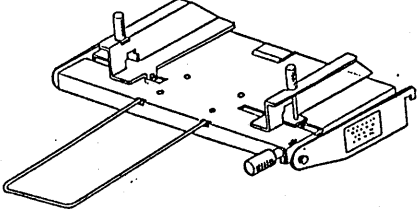
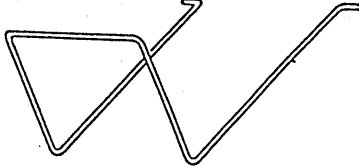
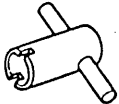
# 1. お使いになる前に

## (1)使用方法・使用場所の注意

⚠ 注 意	
⊘	1 ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
⊘	2 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。 火災・感電の原因になります。

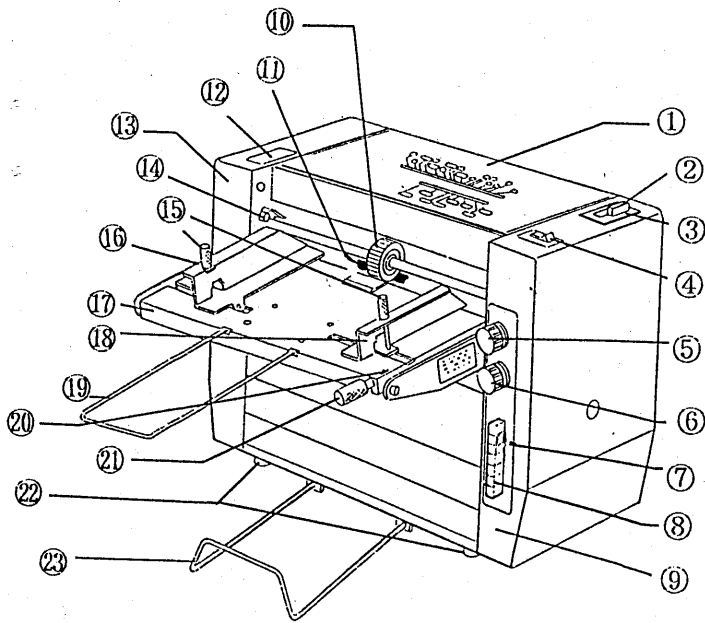
- ・直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- ・窓際はなるべくお避けください。
- ・室温は摂氏5℃～35℃の範囲でご使用ください。
- ・暖房器具に近い場所に設置しないでください。
- ・風が直接当たる場所に設置しないでください。

## (2)付属品の種類・数量確認

品名	付属品	個数	図
F - 7 N AF - 4 N AF - 4 CN F - 4 N F - 4 CN	1. 給紙テーブル	1	
全機種	2. 排紙受け	1	
全機種	3. ハンドル	1	
全機種	4. 取扱説明書	1	_____
全機種	5. 保証書	1	_____

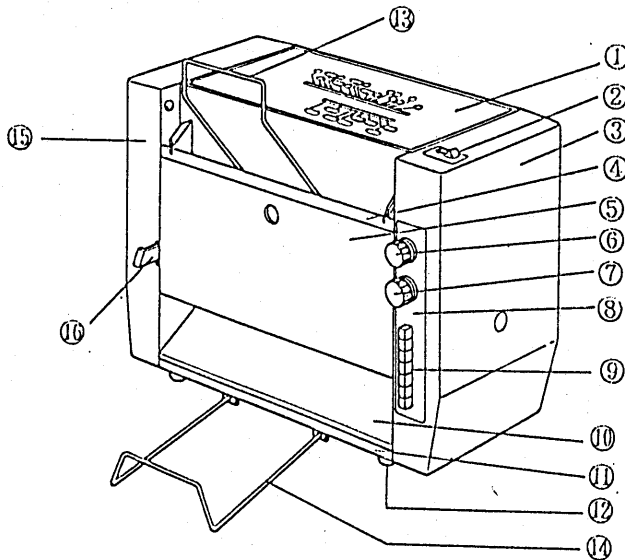
### (3). 本体各部の名称

AF-4N・F-4N型  
AF-4CN・F-4CN型



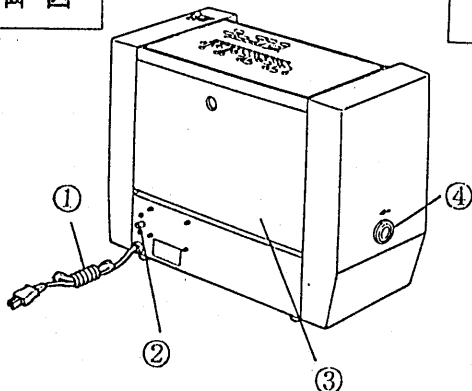
- ①折り位置表示板
- ②リセットボタン
- ③カウンター  
(AF-4CN, F-4CN型のみ)
- ④電源スイッチ
- ⑤ダイヤル1
- ⑥ダイヤル2
- ⑦自動用操作銘板  
(AF-4N・4CN型のみ)
- ⑧自動折り位置設定ボタン  
(AF-4N・4CN型のみ)
- ⑨右化粧カバー
- ⑩給紙ローラー
- ⑪用紙セパレーター
- ⑫スタート・ストップキー
- ⑬左化粧カバー
- ⑭1給軸クランパー
- ⑮用紙ガイド固定ネジ
- ⑯用紙ガイド左
- ⑰自動給紙テーブルAss'y
- ⑱用紙ガイド右
- ⑲自動給紙用用紙受け
- ⑳指針
- ㉑斜行調整つまみ
- ㉒足ゴム
- ㉓排紙受け

AF-4H・F-4H型

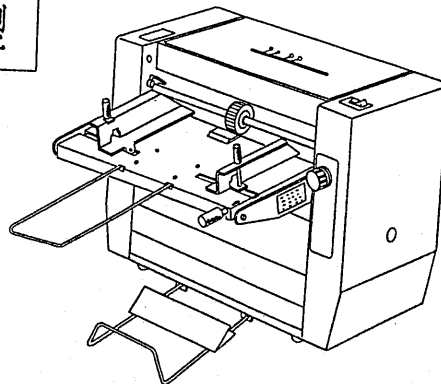


- ①折り位置表示板
- ②電源スイッチ
- ③右化粧カバー
- ④手差し用給紙テーブル
- ⑤手差し用2テーブルカバー
- ⑥ダイヤル1
- ⑦ダイヤル2
- ⑧自動用操作銘板  
(AF-4Hのみ)
- ⑨自動折り位置設定ボタン  
(AF-4Hのみ)
- ⑩排紙テーブル
- ⑪底板
- ⑫足ゴム
- ⑬手差し用用紙受け
- ⑭排紙受け
- ⑮左化粧カバー
- ⑯2つ折りON・OFFレバー

背面図



F-7N型



- ①電源コード
- ②ブレーカー
- ③1テーブルカバー
- ④キャップ

## 2. ご使用方法

### 1. 準備

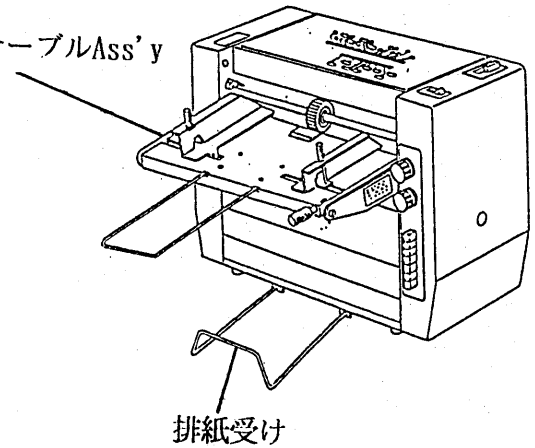
(1) AF-4N・F-4N・F-7N型の場合

- ①自動給紙テーブルAss'yのセットのしかた
  - ・自動給紙テーブルAss'y先端のフック部を下用紙ガイドの角穴部に差し込んでください。  
(この時、給紙ローラーに給紙テーブル中央部のゴム板が当たる為、下げたままの状態です。)
- ②排紙受けのセットのしかた
  - ・足ゴム台下部のアングルに排紙受けを差し込んでください。  
※排紙受けは用紙の大きさに合わせて任意の長さにスライド出来ます。

(2) AF-4H・F-4H型の場合

- ①用紙受けのセットのしかた
  - ・給紙テーブルの穴(2カ所)に用紙受けのフック部を差し込みます。
- ②排紙受けのセットのしかた
  - ・足ゴム台前面下部の長穴に排紙受けを差し込みます。  
※排紙受けは用紙の大きさに合わせて任意の長さにスライド出来ます。

自動給紙テーブルAss'y



### 注意



テーブルが、ガタなくしっかり固定されている事を確認してください。外れてけがの原因になります。

### (3) 用紙をセットします

- ①用紙ガイド右・左を用紙に合わせてスライドさせます。
- ②用紙ガイド左の先端平面部を押してテーブルを下げて置いて用紙を載せます。
- ③用紙受けを用紙の後端より10mm内側を支える様にスライドさせます。  
※用紙積載量は上質55kgで200枚が限度です。

## 2. 操作方法 <AF-4(C)N・F-4(C)N・F-7Nの場合>

### (1) 電源を入れます

- ・電源コードをコンセントに差し込み、電源スイッチを「入」にします。  
※電源スイッチランプが点灯し、モーターが回転します。

### 警告



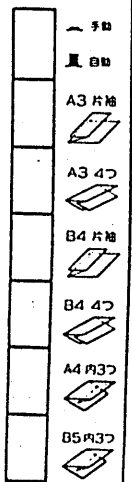
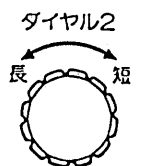
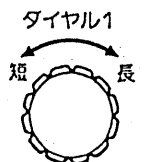
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

### (2) 折り位置をセットします

※AF-4H, F-4H型も同じ操作方法になります。

※自動折り位置設定付で手動設定する時は必ず手動、自動切り替えボタンを「手動」にセットしてからダイヤルを回してください。

- ①2つ折りセットのしかた
  - (a)ダイヤル1を回して指針を任意の用紙サイズの「2つ、4つ」の線上に持っていきます。  
※自動折り位置設定付の場合は「A3・4つ」、「B3・4つ」の任意のボタンを押します。(但し、A3, B4サイズの内紙のみ自動設定可能です。)
  - (b)2つ折りON・OFFレバーをONにします。  
※ダイヤル2は操作しません。



②その他の折り位置のセットのしかた




- ・ダイヤル1, 2を回し任意の折り形に指針を設定します。
- ※ダイヤル1, 2は「止」以上回さないでください。
- ※2つ折りON・OFFレバーが「OFF」の状態になっている事を確認してください。
- ※自動折り位置設定付の場合は押しボタンにて自動設定できます。但し、A3, B4の2つ折り, 4つ折り, 片袖折り, A4, B5の3つ折りのみ自動設定可能です。

③F-7N型

- ・ダイヤルを回し任意の折り形に指針を設定します。
- ※ダイヤルは「止」以上回さないでください。

(3) 試し折りをします

- ①「スタート」キーを押し、1枚給紙したら「ストップ」キーを押して、折り位置を確認します。
- ②折り位置を修正する場合は、10ページ「(5)折り位置調整のしかた」を参考にしてください。又、自動折り位置設定付の機械の場合は「手動」にセットしてからダイヤルを回してください。
- ③折り曲がりを修正する場合は「(5)斜行調整の方法」を参考にしてください。

 注意	
	ローラーなど駆動部分には絶対に手を触れないでください。 けがの原因になります。
	髪の毛・ネクタイ・ネックレス等をローラーなどの駆動部分にたらしめないでください。 けがの原因になります。

(4) 紙折りを開始します

- ・カウンターのリセットボタンを押して「0000」にします……4桁加算式カウンター (AF-4CN F-4CN型のみ)
- ・「スタート」キーを押します。

※次の様な時は、給紙は自動的に止まります。

- ①用紙がなくなった時
- ②給紙ミスがあった時
- ③1・2テーブル内に用紙が詰まった時
- ④排紙テーブルに用紙が溜まり過ぎた時

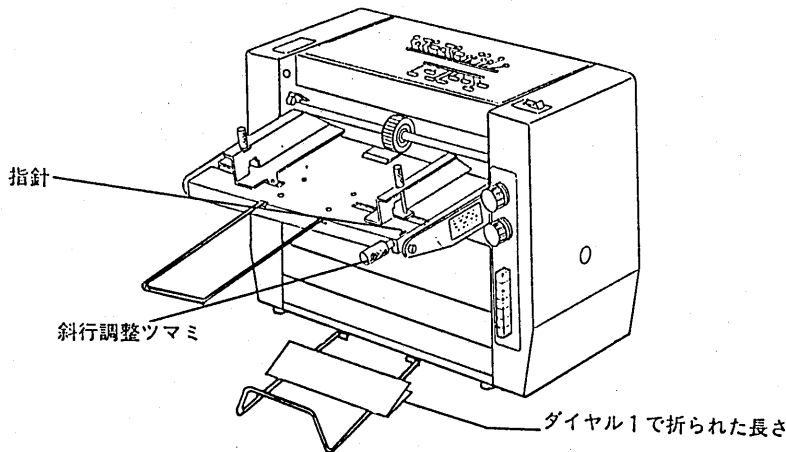
※途中で止める場合は「ストップ」を押してください。

※排紙した用紙は排紙受けに収納する様にして排紙テーブル上には溜めないでください。

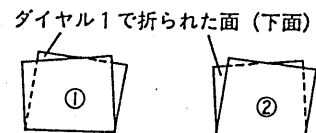
※印刷した用紙のインクが乾かない内に紙折りすると、給紙ローラー、用紙セパレーター、折りローラー等にインクが付着しトラブルの要因になりますので、インクが乾いてから使用してください。

(5) 余斜行調整の方法

用紙裁断時の曲がり、その他の原因で折り合わせが曲がっている場合に、斜行調整ツマミで曲がりを修正します。



- ①ダイヤル1又はダイヤル2で折られた面(下面)が右へ曲がった場合は、斜行調整ツマミを右方向に回してください。
- ②ダイヤル1又はダイヤル2で折られた面(下面)が左へ曲がった場合は、斜行調整ツマミを左方向に回してください。





- ※1. ダイヤル1で折られた面をしたにし、(但し、ダイヤル1以外で折られた箇所は伸ばす様にして、図を参照すると分かり易い。) ①、②図を参考にして斜行調整を行ってください。(折られた面は10ページ「(5)折り位置調整のしかた」の表を参照してください。)
- ※2. 斜行調整使用後は必ず元の位置に戻してください。(指針が給紙テーブル長孔の中央にある様にしてください。)

### 3. 操作方法 <AF-4H・F-4Hの場合>

#### (1) 電源を入れます




- ・電源コードをコンセントに差し込み、電源スイッチを「入」にします。
- ・電源スイッチランプが点灯します。
- ※この状態ではモーターは始動しません。用紙を挿入した時始めて始動します。

#### (2) 折り位置をセットします

AF-4H及びF-4Hは7ページを参照してください。

#### (3) 試し折りをします

- ①用紙受けに用紙を載せ、給紙テーブルと天板の間を斜目に滑らせる様に用紙を投入します。  
 ※用紙の自重を利用して落下させる様に滑り込ませると曲がりがなくきれいに折れます。  
 ※カールした紙等は先端を若干矯正するときれいに折れます。  
 (カールを矯正出来ない時は用紙がローラーに当たるまで軽く押し込んでください。)
- ②任意の折り形に折られて排紙されます。  
 ※印刷した用紙のインクが乾かないうちに紙折りすると、ローラー等にインクが付着し、トラブルの要因になりますので、インクが乾いてから使用するようにしてください。
- ③折り位置を確認します  
 ※1枚折りと複数折りとは折り位置が変わります。  
 (折り位置表示板の目盛りは1枚折りを基準に表示してあります。)  
 内3つ折り以内側の折り返しが発生した時はダイヤル2の長さを長くしてください。
- ④折り位置を修正する場合  
 ※10ページ「(5)折り位置調整のしかた」を参考にしてください。又、自動折り位置設定付の場合は「手動」にセットしてからダイヤルを回してください。

 <b>注 意</b>	
	ローラーなど駆動部分には絶対に手を触れないでください。 けがの原因になります。
	髪の毛・ネクタイ・ネックレス等をローラーなどの駆動部分にたらしめないでください。 けがの原因になります。

#### (4) 紙折りを開始します

- ・用紙を投入し、紙折りを開始します。
- ※用紙が完全に排出されてから次の紙を投入してください。
- ※排出した用紙は排紙受けに収納する様にして、排紙テーブル上には溜めないでください。

### (5) 折り位置調整のしかた

・折り位置を修正、又は特殊用紙を折る場合は下表を参考にしてください。

※F-7N型の場合は「2つ折り」のところのみ参考にしてください。

又、紙折りの排紙状態は6ページF-7N型の図を参照してください。

	用紙の入れ方 矢印は挿入 方向	ダイヤル1で 折られた状態 (実線を表す)	ダイヤル2で 折られた状態 (実線を表す)	排紙 の状態	ダイヤル 1・2で折 られた辺		ダイヤル1・2の回転方向		
					1	2	aが長い場合	bが長い場合	cが長い場合
2つ折り	→ 表				a		ダイヤル1を「短」に回す	aが短い場合はダイヤル1を「長」に回す	
内3つ 折り	→ 表				b+c	b	ダイヤル2を「長」に回す 又は ダイヤル1を「長」に回す	ダイヤル2を「短」に回す 又は ダイヤル1を「長」に回す	ダイヤル2を「長」に回す 又は ダイヤル1を「短」に回す
外3つ 折り	→ 表				a	b	ダイヤル1を「短」に回す 又は ダイヤル2を「長」に回す	ダイヤル2を「短」に回す 又は ダイヤル1を「長」に回す	ダイヤル2を「長」に回す 又は ダイヤル1を「長」に回す
4つ折り	→ 表				b+c	c	ダイヤル1を「長」に回す	ダイヤル1を「短」に回す	ダイヤル2を「短」に回す
片袖折り	→ 裏				a	b	ダイヤル1を「短」に回す 又は ダイヤル2を「長」に回す	ダイヤル2を「短」に回す 又は ダイヤル1を「長」に回す	ダイヤル1・2を 「長」に回す

・表中の表は印刷面を表し 2ヶの丸穴は綴じ穴を示します。

・表中の折り形のイラストは右化粧カバー側より見た状態を表します。

・表中の分数は用紙の全長(L)に対する比率を表します。

・表中の実線部がそのダイヤルで折られた長さを表します。

★外3つ折りで宛名面が上にくる様に折るには、宛名面を後にしてセットしてください。

★印刷面が内側になる様に折るには、印刷面を上にしてセットしてください。但し、片袖折りの場合は印刷面を下にしてください。

## 3. 機械のお手入れ

### 1. 折りローラーの清掃

・折りローラー(金属及びゴムローラー)・用紙セパレーター・給紙ローラーは定期的(月に1度程度)又は汚れがひどい時は清掃してください。

・折りローラーを清掃する時は次の点に注意してください。

(1)必ず電源プラグを抜いてハンドルで回しながら清掃してください。

(2)アクチュエーター(針金)を曲げない様にしてください。

(3)化粧ネジ(2ヶ所)を外し、ローラーカバーを外してください。

・折りローラーにインク及び紙粉等が附着するとシワ、変形折れ、スリップ等のトラブルの原因になるので汚れたら、クリーニングキットで清掃してください。

清掃する時はハンドル(付属品)で折りローラーを回し、鉄板の切り口で手を切らない様注意して行ってください。

・給紙ローラー及び用紙セパレーターに紙粉や印刷物のインクが溜まると給紙不良が発生しやすくなるので汚れたら、清掃してください。

・外装部の汚れは、クリーニングキット(別売)をご使用ください。溶剤系の洗浄液の使用は変色の恐れがありますので避けてください。

### 2. 消耗品について

①製品に使用されている給紙ローラー、ブレーキゴム、用紙セパレーターは消耗品です。

②折りローラーについては、6ヶ月の限定保証とさせていただきます。

## 4. トラブルガイド

テーブルカバーを開けて紙詰まりの処理をする時は絶対に素手でやらないでください。

### (1) 用紙が詰まった場合の処理のしかた

- ①電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントより抜いてください。
- ②1・2テーブルカバーを開き1・2テーブル（ステンレスバネ製薄板網）を曲げない様に注意して詰まった用紙を取り除いてください。

※中の用紙が完全に取れない時は、左化粧カバー中央のキャップをマイナスドライバーで外し、ハンドル（付属品）で矢印方向に回しながら取り除いてください。

但し、ハンドルが重い時は無理に回さず、用紙を手で引張りながらハンドルを逆転させて取り出してください。

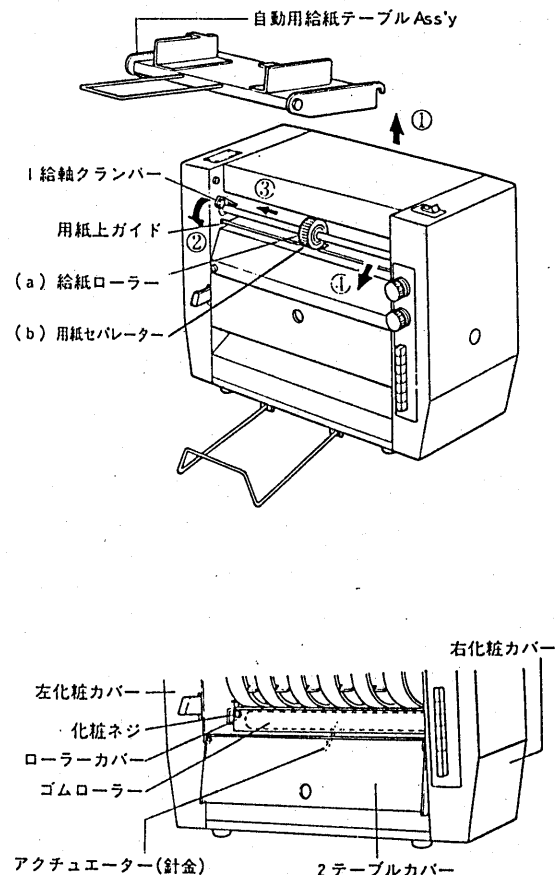
又、ハンドルが異常に重い時は詰まった用紙をカッターナイフ等で破いて、少し取り出してハンドルが軽くなってから回してください。

重いまま回そうとすると中のギヤが破損する事があるので注意してください。

※自動給紙型は自動用給紙テーブル Ass'y  
・給紙ローラーを取り外すと処理が簡単です。

※給紙ローラーは、1給軸クランパーを矢印②方向に回し、矢印③方向にスライドさせて、矢印④方向に振ると斜めに引き出せます。（1給軸は取り外す事はできません）  
詰まった用紙を取り除く時、1・2テーブルのバネ板網で手を切らない様注意してください。

(注) 用紙を取り出す時、前（手差給紙型の用紙入口部）と後（排紙部）にアクチュエーター（針金）があるので曲らない様に注意してください。



### (2) 自動折り位置設定付で自動設定ができない

AF-4N・4CN, AF-4H型の場合のみ

(1)自動、手動の切り替えボタン（黒）が「手動」にセットされている時。

- ・「自動」にセットしてください。

(2)ダイヤル1・2が動かない時。

※手動設定で「止」以上ダイヤルを回すと1・2テーブルストッパー（折り位置を決める板）がロック状態になることがあります。

①電源スイッチを「切」にしてください。

②手動でダイヤル1・2の指針を「止」位置から離れるまで回してください。

③切り替えボタン（黒）を「自動」にし、任意の折り形を選択してボタンを押します。

### (3) 自動給紙型でモーターが途中で止まった場合

AF-4N・4CN, F-4N・4CN, F-7N・7CN型の場合

#### (1)モーターが途中で止まった場合

モーターが止まったら直ぐ電源を「切」にして詰まった用紙を取り出してください。

#### (2)シワ及び曲がりができる

- ・用紙がカールしているとシワ及び曲がりが発生し易いので先端のカールを矯正してください。
- ・用紙ガイド右・左を用紙に密着させてください。
- ・自動用給紙テーブル Ass'y を真っ直ぐにセットしてください。
- ・機械内部に紙が詰まっていたり、折りローラーにゴミや紙粉が溜まっているとシワの要因になるので詰まった紙を取り除き、ローラーを清掃してください。

#### (3)複数枚送りができる

- ・紙をよくさばいて再セットしてください。
- ・用紙セパレーターが汚れていたら清掃してください。
- ・印刷したインクが乾いてから紙折りをしてください。(ベタ印刷等は半日以上経過してから折る様にしてください。)

#### (4)用紙がスリップする

##### ①用紙先端が給紙ローラーに当たっていて、スリップが起きた場合。

- ・給紙ローラーに紙粉及びインク等が附着している場合は清掃してください。
- ・給紙ローラーが磨耗したら交換してください。(交換方法は11ページ「1. 用紙が詰まった場合の処理のしかた」②頁※欄を参照してください。)

##### ②用紙先端が給紙ローラーに届いていない。

- ・紙をさばいてから下用紙ガイドに当てる様に再セットしてください。

### (4) 手差し給紙型でモーターが途中で止まった場合 又は、止まらない場合

#### (1)モーターが途中で止まった場合

AF-4H }型の場合  
F-4H

・厚紙を入れてモーターが止まった時

※ブレーカーが作動してモーターが止まります。

①電源スイッチを「切」にしてください。

②左化粧カバー中央部のキャップを外し、ハンドルで矢印方向に回して詰まった用紙を排出してください。

※ハンドルが重い時は中の用紙を破いてハンドルが軽くなってから取り出してください。

ハンドルが重い時は無理に回さず、用紙を手で引張りながらハンドルを逆転させて取り出してください。無理に回すと中のギヤが破損することがあるので注意してください。

※紙折り枚数はコピー用紙(上質紙55kg) A4で8枚、B4で6枚が限度です。

③ブレーカーを押してから電源スイッチを入れ、再スタートしてください。

※ハンドルで回せない時は、販売店まで連絡してください。

#### (2)モーターが止まらない場合

次の様な時はモーターが止まらない為、電源スイッチを「切」にしてください。

- ・用紙投入を途中で中止した時。
- ・投入した用紙が完全に排紙されずに、1・2テーブル内に残っている時。
- ・排紙テーブルに紙が溜まり、排紙検知マイクロスイッチが押されている時。  
(排紙された紙は、排紙テーブルにあまり溜めないでください。)

#### (3)シワ及び曲がりができる

- ・用紙がカールしているとシワ及び曲がりが発生し易いので先端のカールを矯正してください。
- ・機械内部に紙が詰まっていたり、折りローラーにゴミや紙粉が溜まっているとシワの要因になるのでローラーを清掃してください。

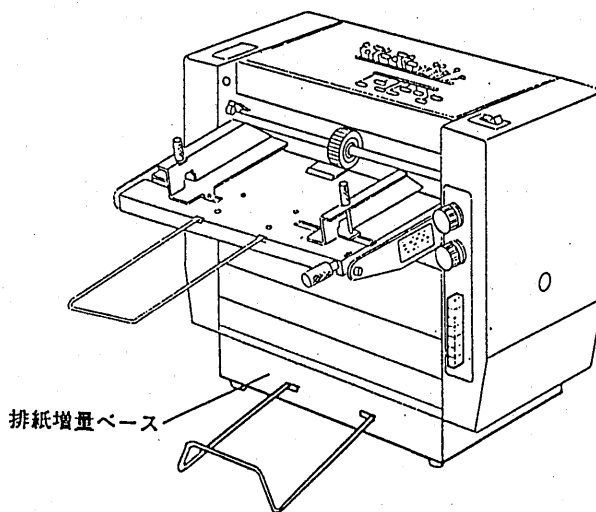
# 5. 故障の場合

修理が必要な場合は、販売店又は当社営業担当者及び、お客様相談センターまでご連絡ください。

■お客様相談センター      フリーダイヤル      ☎ 0120-077-266

オプション

(1) 排紙増量ベース (別売)      ¥10,000  
 排紙揃えが良くなり、排紙収納量が増えます。

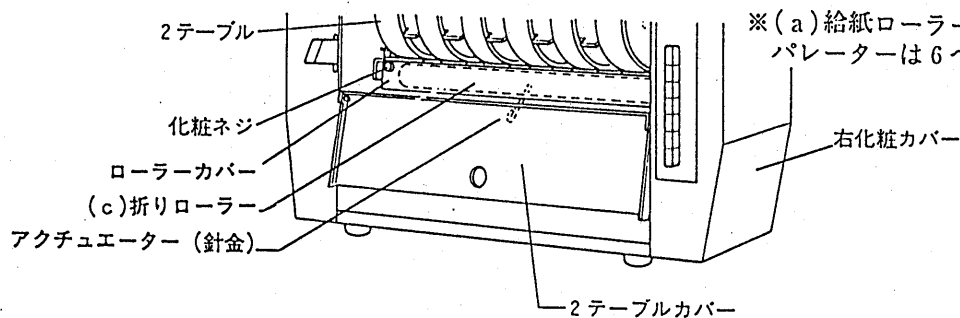


(2) クリーニングキット (別売)

(a) 給紙ローラー・(b) 用紙セパレーター・(c) 折りローラーの清掃液キットです。

ご用意いただきますと清掃がスピーディで手を汚す事なく簡単に汚れを落せます。そしていつまでも正確な紙送りと紙折りが維持できます。

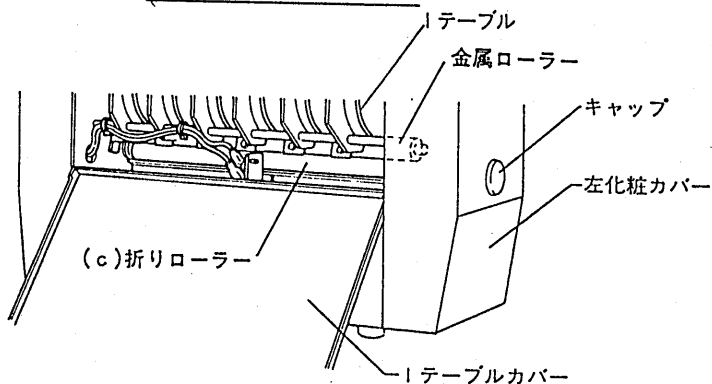
正面から見た図



※(a) 給紙ローラーと(b) 用紙セパレーターは6ページの図参照

¥8,000

後から見た図



## 6. 各機の仕様

型式	AF-4N (AF-4CN)	F-4N (F-4CN)	F-7N	AF-4H	F-4H	
用紙サイズ	A 3・B 4・A 4・B 5					
紙質	40kg~90kg (更紙・上質紙・中質紙)			40kg~90kg (更紙・上質紙・中質紙・アート・コート紙)		
折り形	2つ折り・内3つ折り・外3つ折り・4つ折り・片袖折り・変形折り (F-7型は2つ折りのみ)					
折り能力	1枚			複数枚綴り(ステープラー止め)上質紙55kg A 4 B 4 A 3 3つ折り 6枚 6枚 4枚 可能 4つ折り 8枚 6枚 4枚		
折り寸法	最大 286mm 150mm 最小 52mm 58mm	1テーブル(ダイヤル1)で折れる最大折り寸法 2テーブル(ダイヤル2)で折れる最大折り寸法 1テーブル(ダイヤル1)で折れる最小折り寸法 2テーブル(ダイヤル2)で折れる最小折り寸法			内3つ折り時 内・外3つ折り時 片袖折り時	
処理速度	B4・2つ折り 50Hz5400枚/時60Hz6400枚/時			A3・2つ折り6秒/枚 B4・2つ折り5秒/枚		
給紙方法	セパレーター機構による自動給紙			手差し給紙		
操作方法	電源スイッチ「入」、給紙「スタート」を押して給紙し、「ストップ」を押して止まる。			電源スイッチ「入」、用紙挿入でモーターON、排紙でOFF		
折り位置 設定方法	押しボタンによる自動折り位置設定(A3・2つ・4つ・片袖、B4・2つ・4つ・片袖、A4・内3つ・B5・内3つのみ自動折り位置設定可能、但しA3・B4の2つ折りは専用レバーを同時に押す。)ダイヤル回転による微調整付		ダイヤル回転式 (微調整可能)	押しボタンによる自動折り位置設定(A3・2つ・4つ・片袖、B4・2つ・4つ・片袖、A4・内3つ・B5・内3つのみ自動折り位置設定可能、但しA3・B4の2つ折りは専用レバーを同時に押す。)ダイヤル回転による微調整付		
付加機能	紙詰まり時給紙自動停止装置付・斜行調整機構付 加算式4桁カウンター (AF-4C・F-4C・F-7C型のみ)			なし		
消費電力	50Hz 70W 60Hz 75W			20W (モーター100V AC)		
使用電源	100V (50/60Hz) ±10V					
機械寸法	470W×560D×390Hmm (使用時) 470W×197D×385Hmm (収納時)			470W×430D×450Hmm (使用時) 470W×197D×385Hmm (収納時)		
機械重量	19kg		17kg	16kg	15kg	

本機の仕様及び外観は改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

## 取扱説明書

この「取扱説明書」はいつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。

また、この「取扱説明書」を汚されたり、紛失された場合は、販売店か当社営業担当者、又はお客様相談センターまでご連絡して、内容を確認のうえ請求してください。

この製品を譲渡される場合は、次の所有者にこの説明書を必ず添付して譲渡してください。

### ●故障の場合

修理が必要な故障の場合は、販売店または当社営業担当者及び以下のウチダテクノまでご連絡ください。

### ■株式会社ウチダテクノ

部門・部署名	〒	所在地	TEL	FAX
東京	104-0033	東京都中央区新川1-10-14 ニューリバービル 2F	(03)5657-4071	(03)5657-4081
大阪	540-8520	大阪府大阪市中央区和泉町2-2-2 ㈱内田洋行内 3F	(06)6920-2446	(06)6920-2498
札幌	060-0041	北海道札幌市中央区北1条東4-1-1 サッポロファクトリー ㈱内田洋行内 1F	(011)241-2825	(011)241-2827
福岡	812-0008	福岡県福岡市博多区東光2-10-11	(092)476-5011	(092)476-5009
名古屋	460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内2-4-20	(052)220-5270	(052)222-7640

### ●商品に関するお問い合わせ先

お客様相談センター フリーダイヤル 0120-077-266

### ●クリーナー

注文番号: 1-141-0074 ゴムローラー専用クリーナー